

STAY HOMEで、こんなことしてました。

今回は、ちょっと趣向を変えて、対談ではなく、外出自粛期間中にYA担当者3名がどんな風に過ごしていたか、最近、読んで面白かった本のことなどをつがやいてみます。

ちょっと工作でもしようかなって思っはるきさんの『お菓子の箱だけで作る空箱工作』に挑戦…!しかし箱の「チェ●シー」が売ってなかったため、材料調達で早速挫折。

仕方がない、本を読もう。怖い話を読もう。『だから見るなといったのに』は怖いお話のアンソロジーでした。怖い小説は夜中に読むと怖さ倍増♪いやいや普通の本も読みますよ。三浦しをん『愛なき世界』。植物オタクの大学院生に果敢にチャレンジする見習いシェフ。健気すぎて泣けます。研究室の人が個性的すぎて笑えます。



M(YA担当のボス)

たまりにたまった本を整理しようと、腕まくりして取り組み始めました。が、案の定、懐かしい本を掘り出して読み始めてしま…。本を部屋に散らかしただけでした。

辻村深月さんの『凍りのくじら』が自分の中では掘り出し物でした。クールな主人公・理帆子が自分の居場所を見つけていく話。最初に読んだのは、大学生くらいのときでした。あれから〇年経ちましたが、今読んでも、強く心に響きます。精神が成長してないってことかしら。心は永遠にYAってことで許してください。



F(YA担当の中堅)

私は「ホンダラケ」の原稿を在宅で作成しておりました!意外と作業がサクサク進むぞ!いざ、プリントアウト!と思ったら、プリンターがなぜか、動いてくれませんでした。。。悲しい。

最近、読んで面白かったおすすめ本は瀬尾まいこさんの「戸村飯店青春100連発」です。大阪にある中華料理屋の兄弟のお話です。関西弁で書かれていて、最初っから最後までオモロイです。仲が悪いと思っているけど実はお互い陰で心配している。何か、兄弟っていいなとほっこりしました。



S(YA担当の新人)

ブログやってるよ! <http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>→



ホンダラケ

2020.6.1

部活動 延長戦!

まさかの緊急事態宣言のため、4~5月の展示が誰にも見てもらえないまま終了してしまいました。なんてこと!というわけで部活動、延長戦突入です!

100%ガールズ 吉野 万理子 著

講談社 2012年刊(1st season) F/ヨシ



横浜の女子校に中学生から通うことになった真純は、同級生たちにスカート姿を見られたくないと思う“男子よりかっこいい”女の子。夢は宝塚の男役になること。妹の「女子校って大変らしいよ」という言葉に最初は緊張していたが、個性的で楽しい同級生たち、かっこいい先輩たちに出会い、女子校ライフを存分に楽しみ始める。入部した準サッカー部では正式な「部活動」に昇格するために奮闘する。部活動、合唱コンクール、文化祭等、学園生活を100%、全力で頑張る女の子たちに元気をもらえる全3巻の物語です。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

14

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

引き続きテーマは「花」を続行します。
外出自粛で生徒さんに会ってないけど元気かなあ。

『桜の森の満開の下』

坂口安吾：著 講談社文芸文庫
1989年刊

森見登美彦：著 祥伝社 2007年刊
「新釈走れメロス 他四篇」所収

鈴鹿峠の山賊である「男」はある日美しい「女」をさらう。女の欲しがる物を手に入れようと奮闘するうちに男は豊かになっていくが、女のキリのない欲望を満たすことに疑問を持ち…

京都に住む作家志望の「男」はある日哲学の道で「女」と出会う。女の言うままに創作にいそしんだ男は作家として成功していくが、一方で作家を志していた頃の無益な日々を懐かしむようになり、女とすれ違うようになるが…

明治の名作と平成の改作。読み比べてみたい2冊です。

新着図書 Pick Up

『銀をつむぐ者』 静山社

中世東欧のある皇国と、雪と氷に閉ざされた異界スターリク王国が舞台。金貸しの少女ミリエムは、銀を金に変える能力から、スターリク王に嫁ぐけれど、王国に閉じ込められたような生活。また、皇国の皇帝に嫁いだ公爵令嬢イリーナは、皇帝にとりついた魔物に、自分の命が狙われていると知ります。二つの世界の狭間で出会った二人は、現状を打開するため、スターリク王と皇帝の魔物を相打ちさせようと計画します。困難な状況を、知恵をしぼって強かに乗り越える女の子たちの姿が格好良く魅力的です。

『銀をつむぐ者』ナオミ・ノヴィク著 那波かおり訳 2020年



933/ノウ

「インフォメーション☆YA」¹⁵ なんと、YAコーナーに初めて 洋書の本が入りましたぁ！



図書館には外国語のコーナーがあります。絵本などの子ども向けの本は児童書コーナーに。大人向けの小説(主にペーパーバック)はYAコーナーの横にあります。でも中高生の英語力で読むにはちと難しい。。。ということで、おなじみの名作読み物が洋書になっているシリーズをYAコーナーに導入！「宝島」や「秘密の花園」「オズの魔法使い」など、よく知っている物語の英語版です。日本語バージョンと照らし合わせて読んでみても面白いかも！ぜひ手に取ってみてね！！

YA世代のために血を吐く思いで名作を紹介するコーナー 『永遠平和のために』

カント：著 池内 紀：訳 2015年刊 集英社

永遠平和は空虚な理念ではなく、われわれに課せられた使命である。



319.8/15

哲学者・カントが平和を築くための条件を示した本です。1795年に出版された後、国際連合を生み出すもとになり、身近なところでいえば、日本国憲法第九条の基本理念ともなっています。哲学の難解さはこの本にはありません。内容はとてもシンプル。そのシンプルな一文一文が、世界の人々の暮らしや風景の写真も相まって今でも強く響きます。平和についてじっくり考えてみましょう。